

(様式 7)

## 公共事業継続箇所評価調査

評価確定日(平成30年9月28日)

事業コード	H30-建-継-07		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	二次改築(現道拡幅)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道105号		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	仙北市草峠		担当者名	主幹(兼)班長 太田 哲
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

## 1. 事業の概要

事業期間	H26 ~ H34(9年)	総事業費	17.2 億円	国庫補助率	0.5950		
事業規模	○延長L=2,900m、幅員W=6.0(8.5)m(1.25+3.0+3.0+1.25)m						
事業の立案に至る背景	<p>○一般国道105号は、由利本荘市井戸尻と北秋田市綴子を結ぶ国道である。由利本荘市、大仙市、仙北市、北秋田市と県内陸部の主要拠点を結ぶ主要幹線道路であり、物流や観光などの産業振興や、救急医療、地域防災などの機能を担う非常に重要な路線である。</p> <p>当該区間の車道幅員は狭く、見通しの悪い区間が連続しているため、特に冬期において大型車両の交差困難やスリップによる路外逸脱が多発している。また道路排水能力が不足しており、大雨時に車両通行が困難となる他、老朽化の著しい水路が存在し危険な状態である。第二次緊急輸送路に指定されている本路線の機能を保持するためにも、早期に整備する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○緊急輸送路としての機能を確保する(第二次緊急輸送路)</p> <p>○現道拡幅整備による安全で円滑な交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>線形不良箇所の是正及び幅員の確保による車両等通行の安全性向上</li> <li>道路排水能力の向上及び老朽化した道路を横断水路の更新による災害に強い道路の構築</li> </ul>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事 業 費 経 費	工 事 費	750,000	1,724,000	974,000	視距確保のため盤下げによる補強土壁施工範囲の増	
		用 補 費	50,000	108,000	58,000		建物調査による補償費の増
		そ の 他	63,000	177,000	114,000		環境調査、事業認定資料作成の増
	財 源 内 訳	国庫補助	525,000	1,025,780	445,445	国庫補助率の変更による	
		県 債	202,500	628,300	425,800		
		そ の 他					
事 業 内 容		調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工				
事業の進捗状況	○平成29年度末で事業進捗率54%(用地進捗率は96%)。						
事業推進上の課題	○特になし。						
関連する計画等	○潟野十二峠地区ほ場整備事業(平成27度~) ○仙北市総合計画						
情勢の変化及び長期継続の理由	○国道105号期成同盟会より道路整備の要望書が提出されている。 ○国道46号 角館バイパス H25開通 ○市立角館総合病院 H29開院						
事業効果把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	94.1 %		データ等の出典	道路課調べ		
	実 績 値 b	93.8 %		把握の時期	平成30年 4月		
達成率 b/a	99.6 %						

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○車道幅員が5.5mと狭く、冬期堆雪幅も確保されていないことから、車両の安全な通行に支障を来している。</li> <li>○国道46号から計画区間までは、平成22年度の潟野工区の完成により全て規格改良済みである。また、当該区間以北についても松葉バイパスがすでに整備されており西木町地区の主要拠点（西明寺～松葉～上桧木内）を結ぶ区間で唯一、道路構造規格を満足していない。</li> </ul>	10点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成27年から潟野十二峠地区ほ場整備事業が実施されており、道路整備を平行して実施する必要がある。</li> <li>○老朽化の著しい横断水路が存在し、非常に危険な状態である。</li> <li>○豪雨時には西側山地からの出水により道路冠水が発生するなど、車両通行に支障を来している。</li> </ul>	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第二次緊急輸送道路に指定されており、整備による機能強化が期待される。</li> <li>○田沢湖・角館を中心とした観光ルートの充実が図られる。</li> <li>○第二次医療施設と西木町北部地区のアクセス性が改善され、救命救急体制の強化が期待される。</li> </ul>	24点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業の費用便益は1.17であり効率性は高い。</li> <li>・総便益の現在価値 22.2億円</li> <li>・総費用の現在価値 19.0億円</li> <li>○計画交通量は4,300台/日である。</li> </ul>	18点
熟 度	○平成29年度末の事業進捗率は54%である。（用地進捗率96%）	18点
判 定	ランク（ <input checked="" type="radio"/> Ⅰ <input type="radio"/> Ⅱ <input type="radio"/> Ⅲ）	85点
	緊急性、熟度が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

--

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード ( H30-建-継-07 )  
箇所名 ( 仙北市草峠 )

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数	<ul style="list-style-type: none"> <li>車道幅員&lt;5.5m</li> <li>最小半径&lt;100m</li> <li>最急勾配&gt;5%</li> <li>冬期堆雪巾なし</li> </ul>	3箇所以上	8	-	2次改築事業については該当しない。	
			2箇所	5			
			1箇所	3			
			0箇所	0			
			計				
	道路環境上の欠陥該当項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>現道の混雑度<math>\geq 1.0</math></li> <li>現道の旅行速度<math>\leq 30\text{km/h}</math></li> <li>現道の事故率<math>\geq 50</math>件</li> <li>通学路指定で歩道なし</li> <li>重大交通事故が発生</li> </ul>	5件該当	15	10	現道の事故率 $\geq 50$ 件 通学路指定で歩道なし 重大交通事故が発生	
			4件該当	12			
			3件該当	10			
			2件該当	8			
			1件該当	4			
			該当項目なし	0			
			計	15			
	緊急性	道路をとりまく環境等					
		関連事業の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の主要プロジェクト</li> <li>地域振興プロジェクト</li> <li>ほ場整備等の他事業</li> </ul>	あり	10	10	湯野十二峠地区は場整備事業 仙北市総合計画
なし				0			
緊急度の高い課題の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等</li> </ul>	あり	5	5	道路横断水路の老朽化 道路冠水		
		なし	0				
計			15	15			
有効性	道路の位置づけ						
	緊急輸送路		第1次輸送路	10	8	第2次緊急輸送路	
			第2次輸送路	8			
			第3次輸送路	6			
			指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス		直接アクセスする	10	6	角館総合病院	
			間接的に補完する	6			
			アクセスへの貢献は小さい	3			
	社会変化による事業の必要性		必要性が高い	10	10	国道46号角館バypass開通	
			低下傾向	6			
必要性が低い			3				
計			30	24			
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比 (B/C)		1.0以上	5	5	B/C=1.17	
			1.0未満	0			
	計画交通量		5,000台/日以上	5	3	4,300台/日	
			1,000台/日以上~5,000台/日未満	3			
	コスト削減		あり	5	5	残土を他工区へ流用した事による処理費の減	
			なし	0			
	事業中止による影響		既投資額の損失大	5	5	用地取得96%	
既投資額の部分的損失			4				
		既投資額の損失が少ない	3				
計			20	18			
熟 度	事業の進捗進捗状況						
	事業の進捗 (事業費)		8割以上完了	10	8	54%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
			未着手	0			
	用地買収の進捗 (面積)		8割以上完了	10	10	96%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
未着手			0				
計			20	18			
合計				100	85		

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		